

今年の夏、東京でボッチャ甲子園が開催されました。この流れに合わせ、第1回神奈川県大会の開催を企画しました。この大会は、ボッチャを広く普及することを目的として、チームの中に肢体不自由者が1人以上いること、そしてランプ使用者のアシスタントはジャックボールを見ながらセットできるルールにしました。卒業生も含め、家族や教員、地域の方が一つのチームとなり、障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツ大会として実施しました。

横浜市立と県立の特別支援学校など9チームが参加し、予選リーグと決勝トーナメントを行いました。どのチームの選手も真剣な表情で投球し、熱戦を繰り広げ、多くの観客から大声援が送られました。

ボッチャをインクルーシブな競技に

誰もが楽しめる障害者スポーツは地域交流の機会としても有効



た。会場全体が一体といます。

なり、大きな盛り上がりを見せました。この大会に賛同して下さった方々へ深く感謝申し上げます。リオデジャネイロパリンピックのボッチャ銀メダル獲得のニュースで、このスポーツに興味・関心が高まり、

次年度は、肢体不自由だけでなく、他の障害の特別支援学校も含めて「かながわボッチャフェスティバル」の開催を目指したいと思います。

この他、神奈川県では、全県立特別支援学校

(佐塚文彦・横浜市

立上菅田特別支援学校

校長)

校28校にボッチャを購入するための予算が配当され、全校で整備が進められるとともに、普及に伴う体験講習やスポーツ教室の開催経費も配当され、児童・生徒の活動や地域住民との交流が行われて